

こりす1さいじクラス便り

令和5年1月17日(火)

山神 寿江



2023年を迎えあつという間に2週間が過ぎました。改めましてあけましておめでとうございます。子どもたちが進級するまで残り3ヶ月弱となりました。今年も一人ひとりの子どもたちが子どもらしく、自分らしさを十分に出せる環境であるように、子どもたちと一緒に楽しみ過ごしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



話す力～助け合い～

6日ほどのお休みでしたが、年明け久しぶりに子どもたちに会え、言葉面や仲間関係など成長を感じる出来ごとがたくさんありました。散歩での出来事です。新年のあいさつに近くのうずくまる神社に行きました。行きは通り道の牛さんにあいさつをしながら順調に進んで行きます。しかし帰り道、休み明けという事もあり、疲れも見られその場に座り込んでしまう子どもがいました。先を歩いていた他の子どもたちもすぐに気が付き「ててつなごう」と近づいていきましたが、途中で転んでしまいました。すると「大丈夫？」と次はその子どものところに駆け寄ります。疲れて座りこんでいた子どもも「大丈夫？」とさっと立ち上がります。一人は右側から、一人は左から、前から、後ろからとみんなで起こそうとしていました。仲間の力で座っていた子どもも、転んでしまった子どもも立ちあがり、園に向け帰ることでした。



また別の日。積み木でそれぞれが「鬼」「ブルトローザー」「トラック」とイメージしたものを形にしたり、高く積みあげては倒れないかハラハラ感を楽しんだりしていました。それぞれ好きなものを作っていました。作る中で友だちが使っていた積み木が欲しく、壊してしまいました。すると「〇〇(僕)のブルトローザーだよ」「〇〇(私)もブルトローザー作りたかったの」「〇〇(僕)の・・・」と悲しそうにしている姿に「ごめんね」「いいよ」と2人とも自分の想いを伝えながら、仲直りしていました。

まだまだ私たち大人が仲介に入ったり、気持ちを代弁する必要性もあります。しかし話す言葉が増え、会話も成り立ちつつある今、子どもたちは自分の思いを相手に伝え、大人のを借りずに仲直りする姿も見られます。子どもたちの中で自分の思いを伝える経験、相手の思いも知ること私自身大切に日々過ごしています。自分の思いを伝えてもしっかりと聞いてもらえる安心感のもと、子どもたち一人ひとりが自分らしさを発揮できるのだと思います。自分でしたいことが増えていたり、いやいや期であったり、と子どもたちの今と一緒に楽しんでいきたいです。



**お弁当の日
(たこあげ)**

